



栗ヶ沢バプテスト教会発行  
**Good News しらかば**  
Vol.22 2022年12月号

〒270-0021  
松戸市小金原2-1-12  
TEL 047-341-9459  
牧師 木村一充

## 「クリスマスを祝う」

クリスマスとは、「キリストのミサ（礼拝）」という意味を持つラテン語の言葉です。ヨーロッパの教会では、イエス・キリストの生誕を祝う日を12月25日と定め、4世紀の末ごろまでには、ほぼすべての教会で、この日にクリスマスをお祝いするようになりました。

メシア（キリスト）がこの世界に来られるという約束は、旧約聖書の預言者の時代から広くユダヤの民に信じられていました。そのようなメシア（救い主）待望の中で登場したイエスというお方こそ、まことの救い主であると信じる信仰を言いあらわした書物が新約聖書です。

新約聖書の中の福音書では、クリスマスの出来事を二つの異なった言い方で表現しています。第一は「乙女マリアより生まれる」という言い方です。それは、キリストがマリアという具体的な母親を持つ一人の人間として、この世に誕生したということを伝えようとしています。そのことを、マタイ福音書とルカ福音書が書き記しています。

第二は「神が人となる」という言い方です。その人は「闇を照らす光」として、この世に神から遣わされた「神の独り子」であると言われます。そのように書くのは、ヨハネによる福音書です。

そのいずれにも、イエス・キリストこそ、この世界の救いのために神がお立てになったまことの救い主であることが言い表されています。今なお、貧困や差別、戦争や疫病の流行など、さまざまな問題が起きているこの世界で、平和の君であるイエス・キリストのご降誕をお祝いするクリスマスの礼拝を、ぜひ、わたしたちの教会で共にささげましょう。

木村一充

木村牧師の礼拝メッセージ動画は  
栗ヶ沢教会Youtubeチャンネルで  
ご覧いただけます▶





## 栗ヶ沢教会のクリスマスのご案内

大人と子どものアドベント合同礼拝  
★子どもクリスマス会は9時～

2022年 12月18日(日) 午前 10時～

### クリスマスイブ燭火礼拝

2022年 12月24日(土) 午後4時30分～  
5時30分

### クリスマス礼拝

2022年 12月25日(日) 午前 10時～



■主日礼拝 毎週日曜日 午前 10時～

■祈祷会 每週水曜日 朝 10時30分～  
夜 7時30分～

※朝はZoomと対面形式を併用 夜は対面のみ



## 日本バプテスト連盟 栗ヶ沢バプテスト教会

松戸市小金原 2-1-12

TEL 047-341-9459 牧師 木村 一充



### サンタさんとクリスマスのおはなし

クリスマスの季節になると登場するサンタクロース。この人の本当の名前は、セント・ニコラウスといいました。苦しみの中にいる人々を助け、目立たないように働く、神さまに仕える人だったといいます。

この人の名前が英語に翻訳される時、「サン・ニコラース」⇒「サンクト・ニコラース」となり、「サンタクロース」と呼ばれるようになりました。

ある貧しい一家に娘が3人おりましたが貧しさのあまり父親は娘たちを売り渡そうとしていました。それを知ったセント・ニコラウスは、一家を助けるためその家のえんとつから金貨を投げ入れました。そしてその金貨は、暖炉のそばに干してあった「長ぐつ」の中にスッポリ……。

セント・ニコラウスは悲しんでいる人をなぐさめ、苦しんでいる人をはげまし、勇気をあたえる人でした。セント・ニコラウス、それがサンタクロースのモデルとなった人です。

クリスマスは、イエスさまの誕生を祝う日です。イエスさまは、約2000年前に神の子として生まれ、人々をなぐさめ、はげまし、生きる勇気をあたえてくださいました。クリスマスにサンタクロースが登場するのは、セント・ニコラウスが、このイエスさまを知り、イエスさまを信じて生きた人だったからです。



バスでのアクセス方法は教会HPでご案内しています